



JPRC



2019年 公的機関高等科潜水士養成課程開催日程

初めに

近年、本、高等科潜水士養成課程を受講する隊員の中には残念ながら普通科潜水士課程の技術習得不十分で高圧下において圧平衡に難がある隊員を派遣してくる事業所等もあります。潜水士として任命される場合においては水の環境、高気圧下や狭隘環境に十分に適性があると選抜した隊員の受講をお願いします。よって、高等科潜水士養成課程を受講する方は、普通科潜水士養成課程を修了し認定されているか、これと同等以上の知識技術を有していることが受講条件です。

お読みください

高等科潜水士養成課程は、捜索潜水士及び救助潜水士としての高度な知識と技術を有することを目的とし、項目においては高度な内容となっています。そのためには JPRC の普通科課程の基本技術が習得され且つ、精神的にも肉体(体力)的にも優れている者でなければなりません。

往々にして潜水士への適性判断を見過ごし、誰でもが潜水できるという風潮に捉えていることもあります。救助隊員だからといって潜水士になれるわけではありません。JPRC では普通科潜水士養成課程で厳しい適性(メディカル)において受講申し込みを受け付けています。これは高気圧環境下においてヒトの組織のあらゆる部位にかなりの負担を受けます。場合においては組織の破壊を及ぼし強いては、生涯において罹患した障害を完治させることが出来ない状態となることもあります。潜水は、浅深度とか深深度に関係なくヒトは水の中では絶対生命を維持することはできません。浅深度において起こる障害も時として重大な障害なり死に至ることもあります。これが**水**の環境です！

潜水はこのように大変危険を及ぼすことを理解していただき安易な初期潜水士訓練を行うことの危険性を知らなければ潜水士は大きなリスクを負うことになります。潜水経験が未熟な者や、知識だけにおいての指導は決して優れた潜水士を養成することは不可能なのです。まだまだこの事の重大さが理解できてない事業所もありあます。JPRC の高等科を受講し、修了した隊員は必ず今までの潜水に対する心構えに違いが表れています。そして、水の環境と潜水の厳しさや過酷さを十分に理解できる高度な潜水士となり国民の負託に充分に応え得る高度救助潜水士として「**事**」ができます。



平成 27 年 4 月 1 日から労働安全衛生法や高気圧作業安全衛生規則が改正され、今までの潜水方法では業務に就くことが出来ないことありますご注意ください。今回の法改正では潜水士の作業安全衛生面において保護された内容となっています。これまでの減圧方法や潜水方法なども改正されています。JPRC の課程は法を遵守した訓練内容で対応しています。

2019年 高等科潜水士養成課程 定員6名

*定員6名と限られていますので受講予定の方は、お早目にお申込みをおすすめください。定員に満たない場合は中止となります。

2019年13期生 公的機関高等科潜水士養成課程(講義7単位1日 実技28単位4日間)

期間：2019年5月27日(月)～31日(金) (知識+実技=5日間)

- ・講義：2019年5月27日(月)
- ・時間：08：30～16：55
 - ・オリエンテーション
 - ・救助潜水概論学
 - ・高圧環境・低圧環境曝露の物理学と生理学
 - ・水中航法学
 - ・狭視界下の潜水方法と緊急対処法学
 - ・捜索潜水と回収方法潜水とロープワーク学
 - ・大深度潜水理論学
 - ・高所潜水学
 - ・減圧停止理論学
- ・実技：2019年5月28日(火)～31日(金)
 - ・時間：08：30～16：30
 - ・潜水装備品の点検と装着時における救助潜水士の能動態勢
 - ・潜水機材の緊急装着法と装備品点検法
 - ・緊急入水方法と緊急出水方法(軽装備潜水時と重装備潜水)単独と複数
 - ・軽装備潜水捜索法と救助法及び曳行と引上げ法(単独・複数)・緊急対処法
 - ・重装備潜水捜索法と救助法及び曳行と引上げ法(単独・複数)・緊急対処法
 - ・大深度潜水の実際35m
 - ・減圧停止の実際
 - ・送気式潜水とフルフェイスマスク潜水の実際及び緊急対処法

***最終申込日：2019年4月10日(水)**

第13期高等科課程は終了しました。

2019年 高等科潜水士養成課程 定員6名

*定員6名と限られていますので受講予定の方は、お早目にお申込みをおすませください。定員に満たない場合は中止となります。

2019年 14期生 公的機関高等科潜水士養成課程(講義7単位1日 実技28単位4日間)

期間：2019年9月27日(月)～10月1日(火)

- ・講義：2019年9月27日(金)
- ・時間：08：30～16：55
 - ・オリエンテーション
 - ・救助潜水概論学
 - ・高圧環境・低圧環境曝露の物理学と生理学
 - ・水中航法学
 - ・狭視界下の潜水方法と緊急対処法学
 - ・搜索潜水と回収方法潜水とロープワーク学
 - ・大深度潜無理論学
 - ・高所潜水学
 - ・減圧停止理論学
- ・実技：2019年9月28日(土)～10月1日(火)
 - ・時間：08：30～16：30
 - ・潜水装備品の点検と装着時における救助潜水士の能動態勢
 - ・潜水機材の緊急装着法と装備品点検法
 - ・緊急入水方法と緊急出水方法(軽装備潜水時と重装備潜水)単独と複数
 - ・軽装備潜水搜索法と救助法及び曳行と引上げ法(単独・複数)・緊急対処法
 - ・重装備潜水搜索法と救助法及び曳行と引上げ法(単独・複数)・緊急対処法
 - ・軽装備搜索潜水から重装備潜水搜索(新科目)
 - ・大深度潜水の実際35m
 - ・減圧停止の実際
 - ・送気式潜水とフルフェイスマスク潜水の実際及び緊急対処法

***最終申込日：2019年8月10日(土)**

訓練生個人準備機材

講義教材；筆記用具・磁気コンパス

実技機材：軽装備機材一式・重装備機材一式・バディロープ1.5m両端ナスカン付き・カラビナ4固・潜水ヘルメット・搜索ロープ6mm～8mm 10m以上～1本・適正ウエイト+6kg・シグナルフロート・リフトバック・ウエビング(6m1本/4m1本)・救命胴衣・フルフェイスマスク・プロテクター(肘・膝)・水中ライト(フラッシュ機能付)・水中ノート・タンクハーネス・鋭利な刃物・ボンベ2本

*上記の資器材でご用意できない場合はご相談ください。

*受講に際してのお願い：高等科潜水課程は、搜索、救助訓練が主でありチームとしての活動ですので申込みは一事業所3名以上のバディでの受講をお願いします。

*PRCの潜水講習においては、他事業署の隊員とのチーム混成講習は行いません。他署との合同訓練は、各課程の技術習得後に応用訓練として自署訓練で行っていただきますようお願いいたします。

*申込み期限、定員になり次第募集を中止します。(1回の最少定員3名に満たない場合は開講を中止させていただく場合もあります。

受講生

- ・受講生は、規定の申込み用紙に記入し、規定の潜水士メディカルチェック表を提出していただきます。
- ・受講生は、上記の個人資器材を準備して参加していただきます。
- ・受講生は、訓練期間中は規律を重んじ潜水知識技術の習得に勉めることを基本とします。
- ・受講生は、水の環境を十分に理解し不足の事態においては死に至ることを認識してください。
- ・受講生は、訓練期間中の健康体調管理は己の責任にて十分に注意してください。
- ・受講生は、指導教官の一手一投足の行動に従い指示以外の行動は厳に慎むこととします。
- ・受講生は、訓練課程受講料の納入は、課程開始日までに納入を完納していること。



受講料

●受講料金について

受講料金は、申込用紙及びメディカルチェック表を提出後課程スケジュール表と請求書をお送りいたしますので受講前までに指定の金融機関へお振込みください。お振込み料金は受講者負担とさせていただきますのでご了承ください。

●認定証申請料金について

認定証申請料金は、訓練最終日の検定に合格された後に請求書を発行いたしますのでその後指定の金融機関へお振込みください。

●受講料金返納について

受講申込書受付後における受講料の返金はありませんのでご了承ください。

*但し、次の場合においては訓練開催を延期しますが中止はありません。*訓練再開においては双方の協議において行う。

＝地域天災等による災害派遣及び治安出動＝

●申し込み用紙

申込み用紙は、ここからダウンロードしてください。PDF

*潜水士免許写し・写真(上半身脱帽3cm×4cm)2枚を提してください。

●メディカルチェック記入用紙

メディカルチェック表は、ここからダウンロードしてください。PDF

*メディカルチェックは正確にご記入ください。「はい」と答えた項目はその症状や経過状況を詳しく記入してください。

*お振込み手数料は受講者負担とさせていただきますのでご了承ください。

受講料金:107,000円(8%税込) 認定証申請料金:7,560円(8%税込)

合計金額:114,560円

お振込先

日本公的機関救助潜水士養成センター

鹿児島銀行 鹿屋支店 普通口座:3002735

詳細はホームページからご確認ください。

<http://www.jpirc.jp/>

【鹿児島県始良市加治木町 加治木港・始良市加治木福祉センター・グッドイン加治木】



1. 交通・宿泊等について

- ・訓練場所までは、各自集合です。
- ・宿泊が必要な方は、グッドイン加治木が便利です。

グッドイン加治木所在地情報

〒899-5211 鹿児島県始良市加治木町新富町210-5

JR加治木駅より徒歩10分

加治木IC降り口より左に300m

鹿児島空港より車で15分

無料駐車場50台完備(予約不要)

TEL: 0995-62-8811 FAX: 0995-62-8812

日本公的機関救助潜水士養成センター
〒893-0023 鹿屋市笠之原町 2096-2
電話：0994-35-0011
携帯：080-3950-4930
E-mail：info@jprc.jp
<http://www.jprc.jp/>

潜術士：永浜 末雄(元防衛省 海上自衛隊)

- ・日本体育協会公認 潜水指導員
- ・日本障害者スポーツ 指導員
- ・鹿屋体育大学 非常勤講師
- ・日本高気圧環境・潜水医学会 会員
- ・九州高気圧環境医学会 会員
- ・日本蘇生学会 会員